

経済 Topics

■ 大分県内の最新経済動向について

大分県内の経済は、持ち直しています。観光業はインバウンド需要が堅調で、回復しています。製造業は引き続き高水準で推移しています。

今回のテーマ

大分県民の生活実態調査

■ はじめに

物価上昇が続く中で、家計への負担を感じている人も多いと思います。当研究所では、今年の8月、大分県内にお住まいの方400人を対象に生活実態に関するアンケートを実施し、収入や支出の増減などについてお尋ねしました。今回はそのアンケート結果についてご紹介します。

■ 世帯収入・消費支出の動向

世帯収入について、1年前と比較して増えたのか減ったのかを尋ねたところ、収入が「増えた」と回答した人は約15%だったのに対し、「減った」と回答した人は約20%となり、「減った」と回答した人の方が若干多い結果となりました。

一方で、世帯消費支出について、1年前と比較して増えたのか減ったのかを尋ねたところ、「増えた」と回答した人は約4割となった一方、減ったと回答した人は約1割となりました。世帯収入では「減った」と回答した人の方が多かったのに対し、消費支出については「増えた」と回答した人の方が多く結果となりました。

消費支出を費目別にみると、「水道光熱費」や「食料品」、「日用品」などの生活必需品では、1年前よりも支出が「増えた」人の割合が「減った」人を上回ったのに対し、「教養娯楽」や「外食費」、「旅行」といった娯楽関連の費目では、消費支出が「増えた」人よりも「減った」人の割合の方が多くなりました。幅広い品目で物価上昇が続いており、消費量を抑えづらい食料品などが世帯消費支出の増加に寄与していると考えられます。

■暮らし向きの変化

1年前と比べて暮らし向きが良くなったのか悪くなったのかを尋ねたところ、暮らし向きが「良くなった」との回答は約6%とわずかだったのに対し、暮らし向きが「悪くなった」との回答は約2割となりました。年代別にみても、全ての年代で「悪くなった」との回答が「良くなった」との回答を上回りました。

■物価上昇の影響と具体的な対策

物価上昇の影響をどの程度感じるか尋ねたところ、「強く感じる」が約5割、「ある程度感じる」が約4割となり、両者を合わせると、全体の9割近くが物価上昇の影響を感じているという結果となりました。1年前の調査結果と比較すると、「強く感じる」との回答が約15ポイント上昇しており、物価上昇が続く中で負担感が増していることがうかがえます。

また、物価上昇に対する具体的な対策について尋ねたところ、「買い物先を工夫する」、「ぜいたく品の購入を見直す」、「購入単価を抑える」が上位となりました。

■まとめ

公的な統計データからは、賃金の伸びが物価上昇の勢いに追い付かず、物価上昇率を加味した実質賃金はやや低下していることが読み取れます。政府による支援策の効果で光熱費の上昇は抑えられているものの、食料品や日用品といった生活必需品の値上げが続いており、今回のアンケートでも、昨年より物価上昇の影響を「強く感じる」と回答した人が増加していることが分かりました。

一方で、物価上昇への対応策として、「外出する頻度を減らす」や「ぜいたく品の購入を見直す」を挙げる人の割合は減少しており、「買い物先を工夫する」との回答が昨年の調査より増加しています。日常の買い物先を見直して節約することで、特別な日には惜しみなく使うなど、メリハリをつけて消費したいという意向を持つ人が多いことが推察されます。

賃金上昇に対する社会的要請が強まっている中、賃上げに踏み切る企業は昨年より増加しています。来年以降も持続的に賃上げが実施されるかどうかは今後の消費動向に大きな影響を与えると考えられます。

(提供：(株)大銀経済経営研究所)